

仕 様 書

- 1 購入物品名 消防吏員用冬服
- 2 購入数量 上衣 50着（内、女性用2着）
ズボン 59本（内、女性用4着）
冬帽 36個
※サイズ別数量表は別紙3のとおり。袖寸、裾寸の変更等及び階級明細は、購入所管課担当者から売渡人に通知する。
- 3 仕様について 別紙1 消防吏員用冬服仕様書及び別紙2 消防吏員用冬帽仕様書のとおり。
使用する材料、付属品等は全般にわたって十分検査をすること。
冬服用の生地については、契約後、速やかに製造元の原反出荷引受証明書を提出すること。
- 4 検査について
売渡人は、契約後速やかに冬服一式の生地について指定機関（一般財団法人カケンテストセンター）の検査（試験）証明書及び生地見本を購入所管課あてに提出すること。
なお、品質の検査項目は、混用率・番手・組織・質量・密度・引張強度・寸法変化率・伸長率・ピリング・染色堅牢度・摩擦帯電圧・撥水度・色相とし、色差の許容範囲は0.5（ ΔE_{00} ）以内とする。この検査に要する経費はすべて売渡人の負担とする。
また、全数量の裁断、縫製にかかる前に完成見本品一式を購入所管課あてに提出し、承認を得た後、全数量の製作に着手すること。
製作期間中は必要に応じ購入所管課担当者が検査を行う。また、製品完成時には、購入所管課担当者の指示により検査を受けること。
検査の結果、手直しを要する場合には、売渡人の責任において速やかに対応すること。
- 5 納入期限 令和8年2月27日（金）
- 6 納入場所 別紙4 納入場所一覧表のとおり。
納入場所ごとの内訳は、各所属の個人明細リストのとおり。
- 7 納入方法 製品は個人ごとに紙袋又はポリエチレン製袋に入れ、各所属の個人明細リストを基に、表に所属・氏名・サイズを明記し、納入場所別にダンボール箱に入れて納入すること。納入の際は、納入予定日の1週間前までに購入所管課担当者へ電話にて連絡を取ること。
- 8 その他
 - （1）入札金額は、検査、見本品作製、出張採寸、その他納入に係る諸経費を全て含んだ金額とすること。
 - （2）売渡人は、契約後速やかに購入所管課担当者へ連絡すること。
 - （3）別寸については購入所管課の指示に従い、売渡人が出張して採寸すること。
 - （4）各所属の個人明細リストは、後日売渡人に通知する。
 - （5）本仕様書に定めていない事項については、その必要が生じたとき購入所管課担当者と協議の上実施すること。その他不明な点については、購入所管課担当者の指示を受けること。
- 9 購入所管課 消防局財産管理課 企画係 担当 石村・海野 電話 054-280-0134

別紙１ 消防吏員用冬服仕様書

１ 総則

- (１) この仕様書は、静岡市消防局が購入する消防吏員用冬服について、必要な事項を定める。
 (２) この冬服に使用する材料、付属品は全般にわたって十分検査がされ、この仕様書をすべて満たすものでなければならない。

２ 使用材料

表 生 地

区 分		規 格	試 験 方 法
組 織		２／２綾織	JIS L 1096
混 用 率		ウール １００％（－３％以内） 導電性繊維入り	JIS L 1030
番 手	経	２／５８（±５％以内）	JIS L 1096
	緯	２／５８（±５％以内）	
密 度 （１０cm間）	経	３００本以上	JIS L 1096
	緯	２６０本以上	
質 量		２４０g／㎡（±５％以内）	JIS L 1096
引 張 強 さ	経	３９０N以上	JIS L 1096 ラベルト [※] ストリップ 法
	緯	３２０N以上	
寸法変化率		経・緯とも±３％以内	JIS L 1096 C 法
伸 長 率		緯 ６％以上	JIS L 1096 8.14 1B
ピ リ ン グ		４級以上	JIS L 1076 A 法 10 時間
染色堅牢度	耐 光	４級以上	JIS L 0842 照射 40h
	洗 濯	４級以上	JIS L 0844 A - 1 号
	汗	４級以上	JIS L 0848 B 法
	摩 擦	４級以上	JIS L 0849 II 形
摩擦帯電圧		１５００V以下	JIS L 1094
撥 水 度		初期５点・ドライ４点以上	JIS L 1092
色 相		H9.0B V2.3 C0.9 同等 ΔE00 0.５以内	JIS Z 8781-6 日立製 UH3900S

３ 付属材料

(１) 上衣

区 分	規 格	使用箇所
芯 地	再生ポリエステル５０％以上	前身頃、見返し、雨蓋、 向宛布、ポケット口布、 襟、袖口
袋 地	再生ポリエステル５０％以上	ポケット袋布
増 芯	フェルト芯	胸上部
裏 地	ポリエステル１００％（再生５０％以上） 紺色タフタ	前身頃、後身頃、袖裏、 雨蓋、向当布、ポケット 口布

肩綿・衿綿	衿綿含み 13mm標準	肩台
釦	金足付き 20mm 6個 練釦 15mm 3個	前身 つり、内ポケット
小 付 属	袖章 片布 品質表示 サイズネーム 襟吊り	左右上袖 右内ポケット下部 片布下端 襟下中央 襟みつ中央
綿テープ	幅 10mm以上	襟、袖ぐり
糸	テترون糸 50番手 表地同系色	地縫い、ステッチ

(2) ズボン

区 分	規 格	使用箇所
マーベルト	—	腰裏
ウェスマン芯	—	腰上部芯
ゴ ム	ポリエステル 82% ポリウレタン 18% 20mm、25mm、30mm	腰裏
袋 地	再生ポリエステル 50%以上	ポケット
不 織 布	—	前立、天狗、ポケット
膝 当	—	前身頃膝裏
釦	練釦 15mm 2個	上前マーベルト 後ろポケット
小付属	前カン ファスナー 片布 品質表示 サイズネーム	ウェスマン 前立 上前脇ポケット袋布 片布下端 片布下端
糸	テترون糸 50番手 表地同系色	地縫い、ステッチ

4 型式（概要図参照）

(1) 上衣

ピークドラペル、ダブル左前2ツ掛け6釦、左胸箱ポケット、左右腰雨蓋付き両玉縁ポケット、左右袖口袖章付き、右胸に階級章用台座、背抜き仕立て

(2) ズボン

ウェスマン付きワンタック、脇斜め切り替えポケット、左右後方片玉縁ポケット（左ポケットは釦止め）、前ファスナー、天狗釦止め、ベルトループ8本、裾シングル仕立て、腰廻り伸縮（拡張式）とする。

5 縫製（概要図参照）

(1) 全般

各部の縫合は、優良で縫い代が適当であること。

縫い目のトビ、ハズレがないこと。

糸調子は、縫い目が優良で縫い曲がりがないこと。

針数は、3cm間で地縫い及び飾り縫いは13針以上、オーバーロックは8針以上とする。

(2) 上衣

区 分	縫 製 要 領
前身頃	左右にダーツ縫いのダブルブレストッドの6ツ釦両前2ツ掛けとし、第1釦20mm広げる。
前身頃穴及び釦	上前身頃に2個の鳩目穴をかがり、前端より125mm脇側に2個と上の釦より斜め上に1個飾り釦を付ける。下前身頃に上前身頃と同様に釦を付け、つり布の止め釦を襟下に付ける。
胸増芯	パス芯及びフェルトで肩くせを取り、型崩れのないようにし、千鳥ミシン刺しとして返り線にストレートの接着テープを縫い付け、ルイスミシン縫いをする。
裏	背裏仕立てとし、前身頃は胸ダーツを地縫い片倒しする。 背裏の裾は25mm幅の三つ折りにし、ステッチを掛ける。
襟及び襟付け	地襟は中心を縫い割り、バイヤスの襟芯を貼り、折り返し線に一条のミシン縫いをし、上襟両端部に芯を貼る。 上襟は見返しと地縫いをし、襟ぐりは縫い割りし、とじを入れる。 襟幅は中央で70mm、襟先で38mmとし、襟周りには6mmのステッチをかける。
襟吊り	襟吊りテープを襟中央に縫い付ける。長さは50mmとする。
左胸ポケット	左胸ダーツ止まりから上6cmの位置に、口幅120mm、深さ150mmの箱ポケットを付ける。口布25mm幅に芯を貼り、上端に幅6mmの飾りミシンで縫い付ける。 ポケット内の身頃側に消防手帳止めループを付ける。
腰ポケット	前身頃の左右腰に口幅160mm、深さ190mmの雨蓋付き両玉縁ポケットを付ける。
内ポケット	左右前身頃内側に口幅140mm、深さ200mmの両玉縁ポケットを付ける。右側はフラップ付とし、フラップ布中心に釦ホールを開け、釦止めとする。口両端にはミシンかんぬきを入れ、袋の下部は見返し縫い代に止める。
袖・袖章	袖口の折り返しに芯を貼り、袖章を左右の山袖に袖口より並行に100mmの位置を袖章の下端として付ける。 袖口は表地を40mm折り返し、裏地をのせて20mmで地縫いする。袖裏は筒縫いをし、縫い目は片倒しとし、とじを入れる。
階級章台	右胸ダーツ止まりから上5cmの位置に、縦24mm、横40mmの面ファスナー（メス）を階級章用の台座として縫い付ける。面ファスナーの色については、黒又は紺色とする。
片布	左前身頃内側に縫い付ける。 納入年度及び納入業者名を入れる。
品質表示	片布の下端に挟み縫いする。
サイズ表示	襟みつ中央に縫い付ける。
穴かがり	機械はと目穴。
縫い代	10mm以上とし、縫い糸の色相は表地と同じとする。

(3) ズボン

区 分	縫 製 要 領
前タック	左上前ファスナーあき、左右のウエストに各 1 本のタックを取り、脇側へ片倒しをする。
後ダーツ	左右に各 2 本とる。
脇ポケット	左右の脇縫い目前方20mmのウェスマン付けより25mm下がりに、口長さ180mmの斜め切り替え式ポケットを付ける。
後ポケット	左右に片玉縁ポケットを付ける。口幅150mm、深さ180mmとし、口の両端に閉止めをする。 左後ろの片玉縁ポケットは釦止めとする。
腰	腰は35mmの腰帯付とし、脇縫い箇所の後身側の腰帯下に前身側の腰帯が入るようにする。腰帯内部に伸縮テープを入れ、前身側と後身側が互いに引合い、左右各25mm以上腰廻りの拡張が出来るようにする。 腰裏はマーベルトを使用し、前立側両端はそれぞれ天狗と前立の前カンの下まで入れる。 後身頃側の腰裏の下端は、脇縫いの箇所で表生地に通して閉止めする。
天狗	芯を貼り、ファスナーを付け、剣型鼻天狗釦止めとする。天狗の上がり幅は35mmとし、前立は幅35mmから37mmでミシン縫いする。
膝当	前身頃腰上端より膝下約100mmまで通し生地を付け、両脇は表地と共にオーバーロックかがりをする。裾に耳を使用しないときは、三巻き縫いをする。
脇縫い	上端から脇ポケット口下までは、30番糸又は50番糸の環縫い（チェーンステッチ縫い）とし割る。
内股縫い	内股膝線まで二重縫い又は環縫い（チェーンステッチ縫い）とし割る。
シック	25mm幅の天狗からの続きシックとし、縫い代に止める。
ベルト通し	幅10mm、長さ使用部分で45mmのベルト通しを 8 本付ける。（内、1 本は前立てより20mmのところに付ける）
裾	シングル折り込み 70 mm以上とする。
門	ポケット及び小股門ミシン入れとする。
片布	腰ポケット袋地へ縫い付ける。 納入年度及び納入業者名を入れる。
品質表示	片布の下端に挟み縫いする。
サイズ表示	左上前ファスナーに挟み縫いする。

(4) 仕上げ

釦付けは生地及び使用個所に適した糸で根巻きをしっかりとすること。

（機械付けする場合の糸の強度は、手付けと同程度とする。）

小じわ、プレス不足がないようにすること。

プレスによる当たり（襟、ラペル、フラップ）に注意し、テカリ及び焦げ等がないこと。

糸くずを残さない等、糸の始末を完全にすること。

(5) その他、概要図のとおりとする。

6 寸法表

下表を基準とし、袖丈や股下は、消防局職員の希望に合わせて、長短の調整をすること。
(調整が必要な数量は、別紙 3 に記載のとおり)

(1) 上衣

(単位：cm)

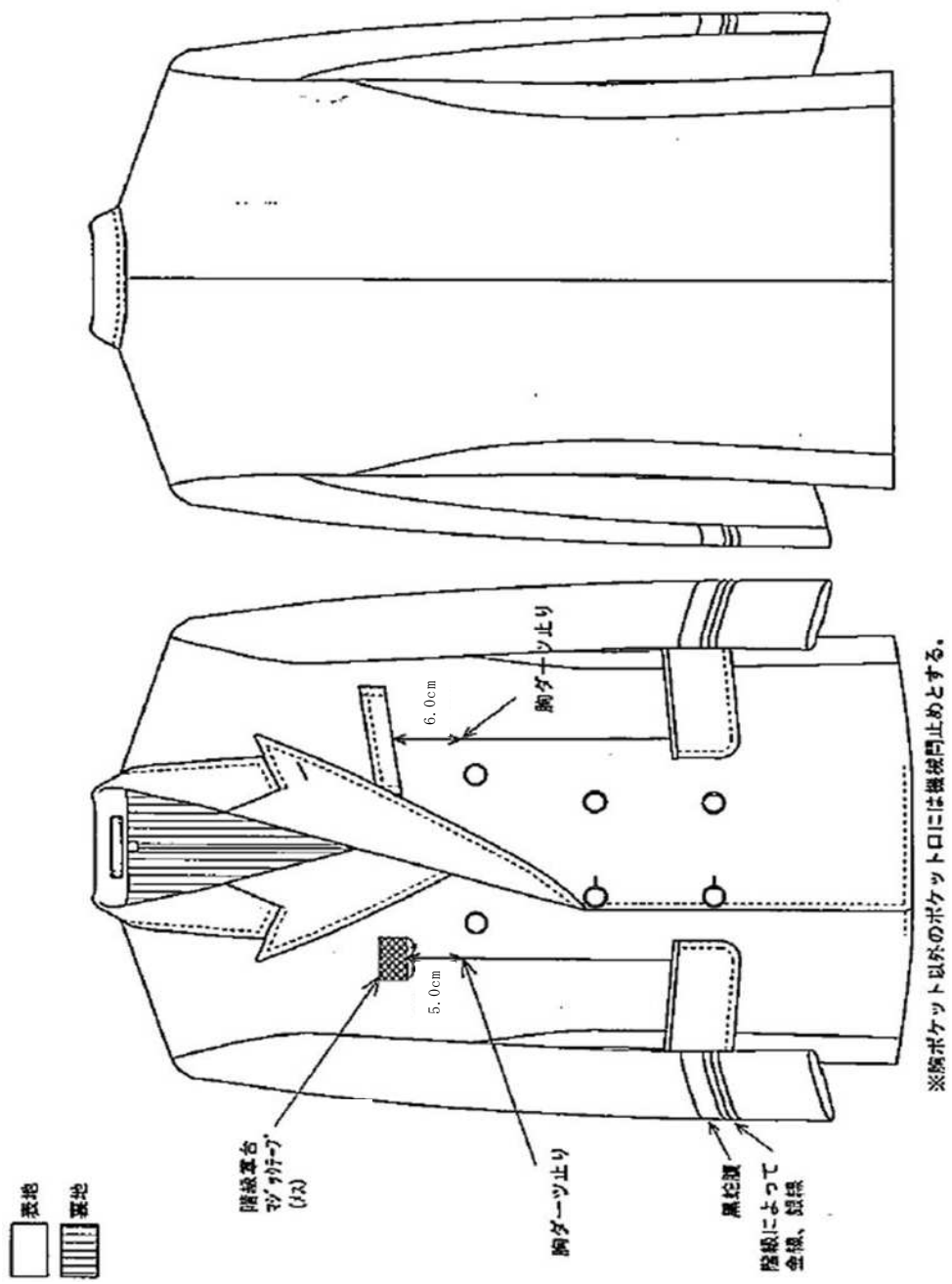
	号数	肩幅	着丈	袖丈	胸囲
普通 体	1 号	4 3	6 8	5 4	1 0 0
	2 号	4 4	6 9	5 5	1 0 2
	3 号	4 5	7 1	5 7	1 0 4
	4 号	4 6	7 2	5 8	1 0 8
	5 号	4 7	7 4	6 0	1 1 2
	6 号	4 8	7 6	6 1	1 1 5
	1 1 号	4 9	7 8	6 3	1 1 9
肥 満 体	7 号	4 6	6 9	5 4	1 1 0
	8 号	4 7	7 1	5 7	1 1 3
	9 号	4 8	7 3	5 9	1 1 7
	1 0 号	4 9	7 5	6 0	1 2 1
	1 2 号	5 0	7 7	6 2	1 2 5
許 容 差		± 1. 0 以内	± 1. 0 以内	± 1. 0 以内	± 1. 0 以内

(2) ズボン

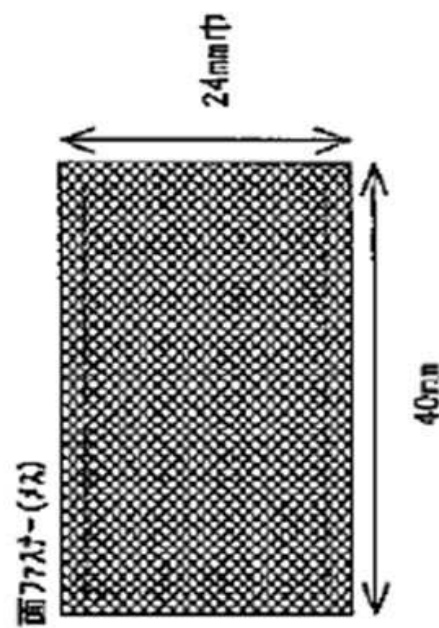
(単位：cm)

	号数	ウエスト	ヒップ	ズボン丈	股下
普通 体	1 号	7 3	9 6	9 1	6 6
	2 号	7 7	9 9	9 4	6 8
	3 号	8 0	1 0 1	9 7	7 0
	4 号	8 2	1 0 3	9 8	7 1
	5 号	8 5	1 0 5	1 0 2	7 4
	6 号	8 8	1 0 7	1 0 5	7 6
	1 1 号	9 1	1 0 9	1 0 8	7 8
肥 満 体	7 号	8 6	1 0 6	9 5	6 7
	8 号	9 1	1 1 0	9 9	7 0
	9 号	9 6	1 1 4	1 0 2	7 2
	1 0 号	1 0 2	1 1 8	1 0 4	7 4
	1 2 号	1 0 6	1 2 2	1 0 6	7 6
許 容 差		± 1. 0 以内	± 1. 0 以内	± 1. 0 以内	± 1. 0 以内

概要図

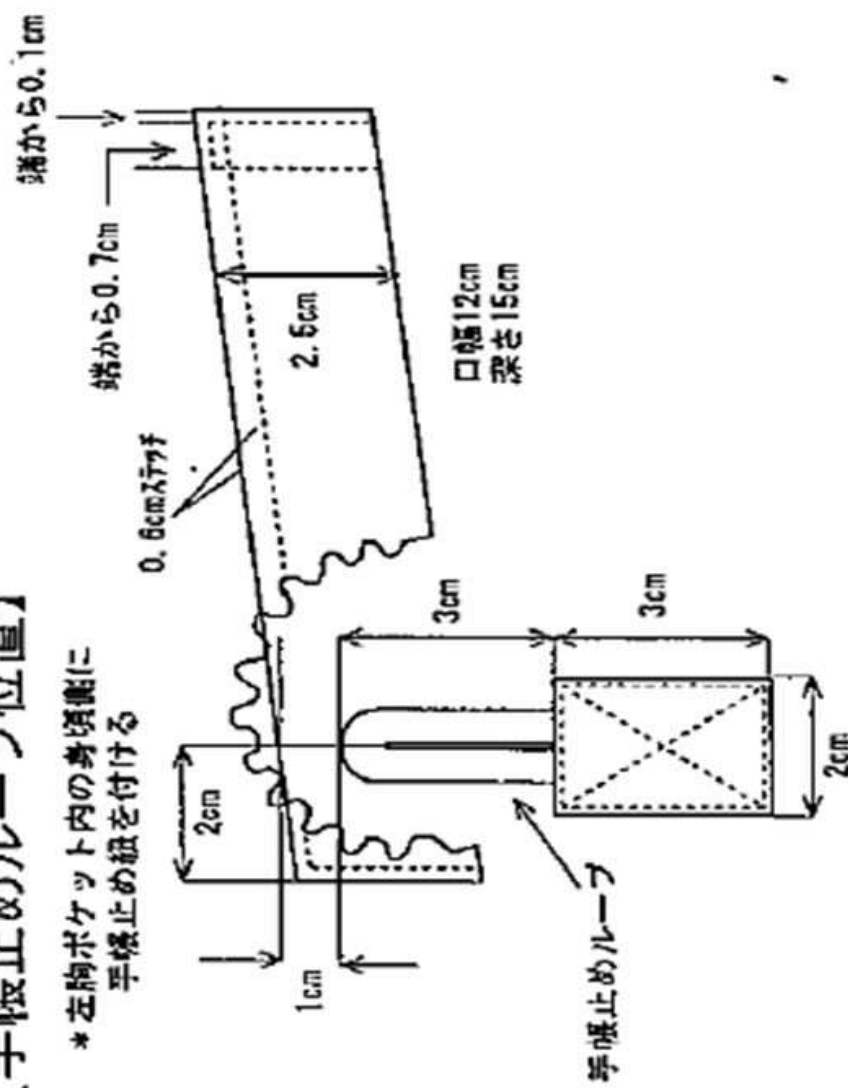


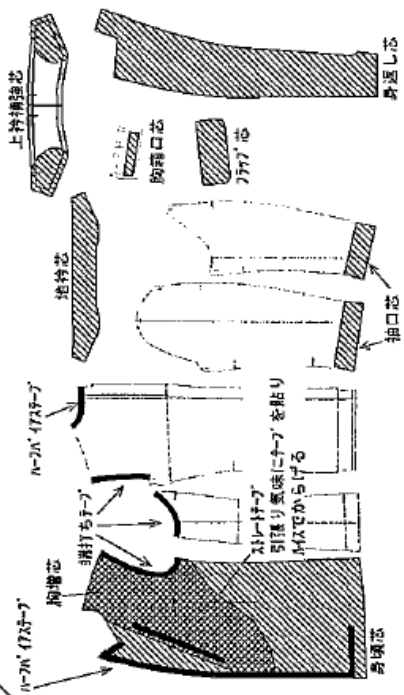
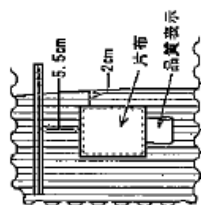
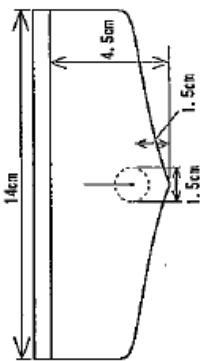
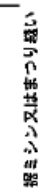
【階級章台(右胸)】



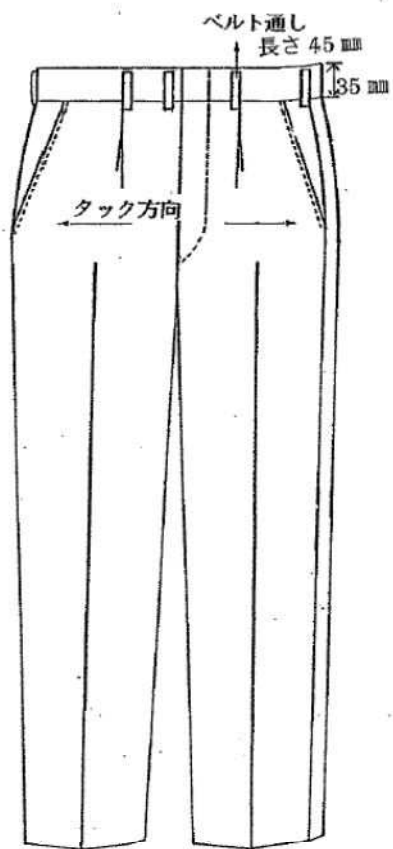
【手帳止めループ位置】

* 左胸ポケット内の身頃側に
手帳止め紐を付ける

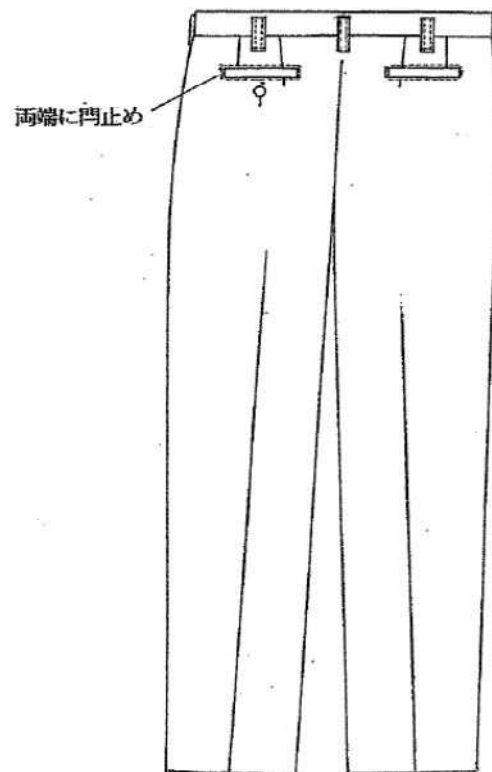


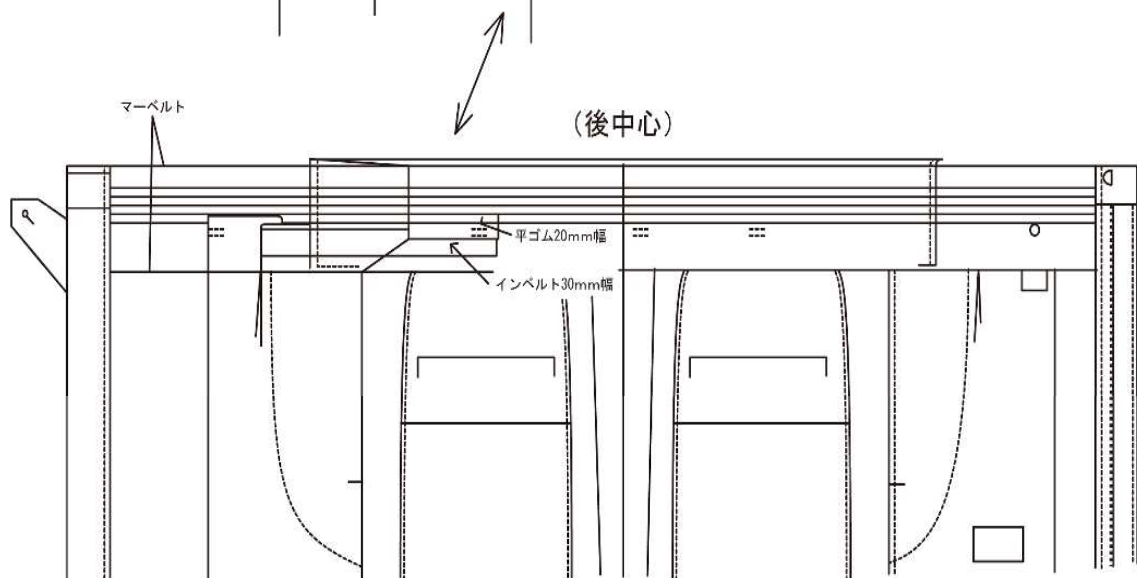
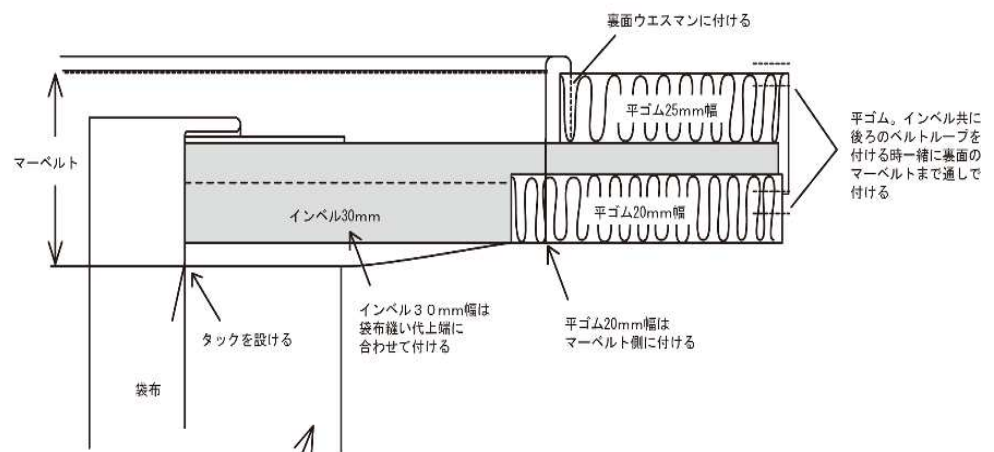
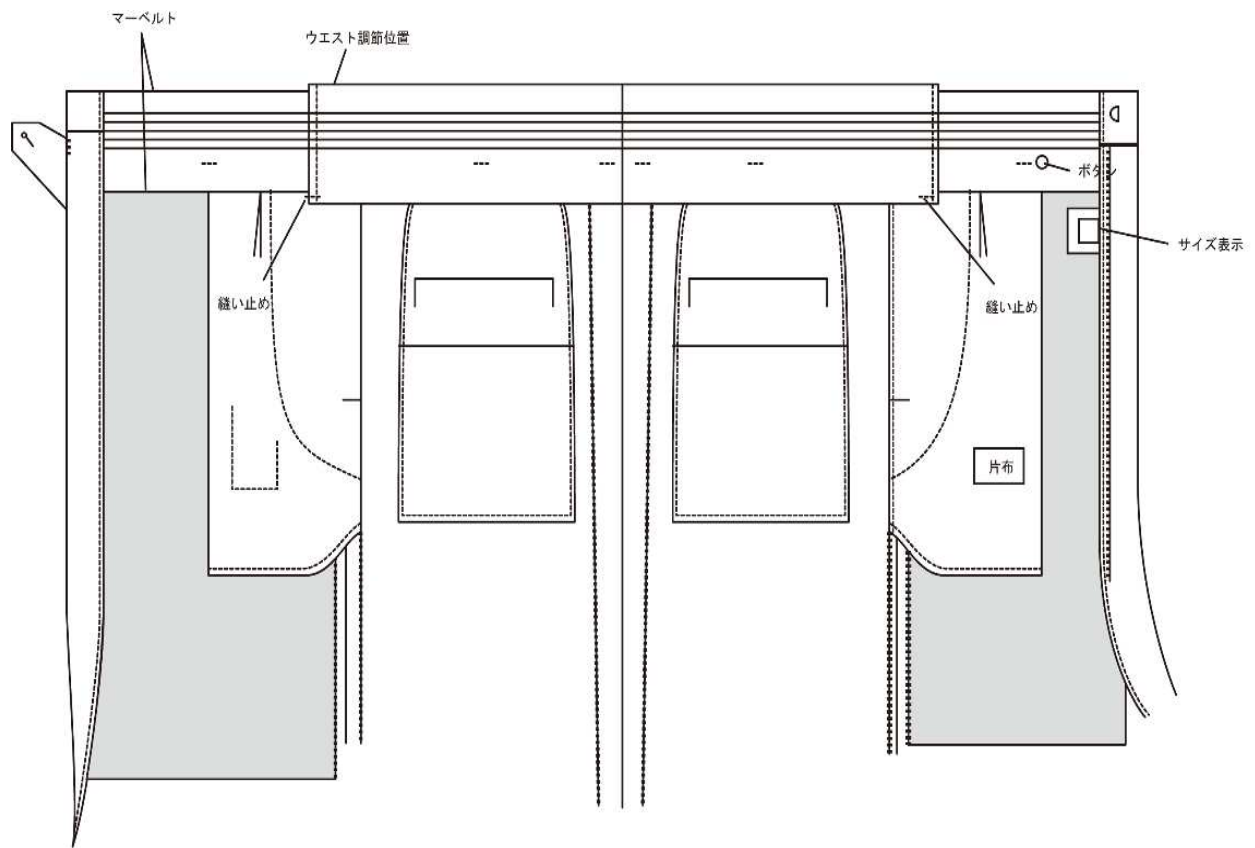


<前 面 図>

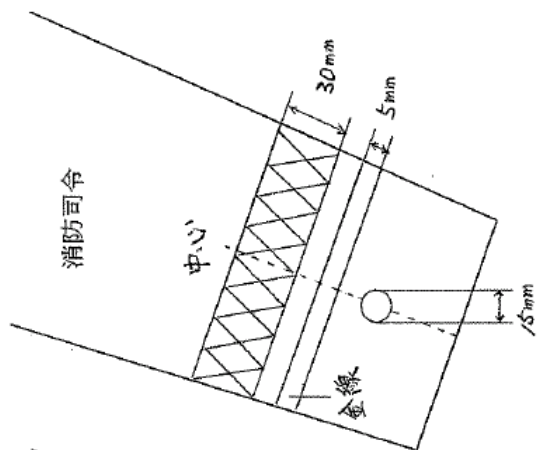
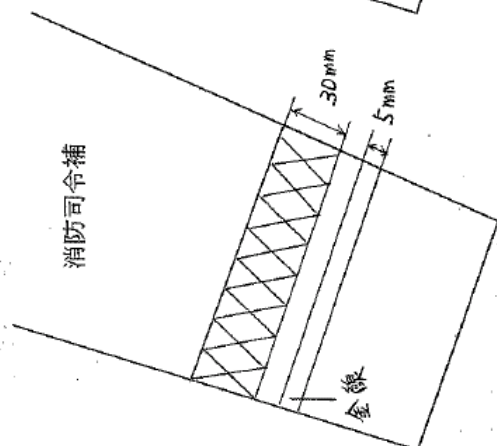
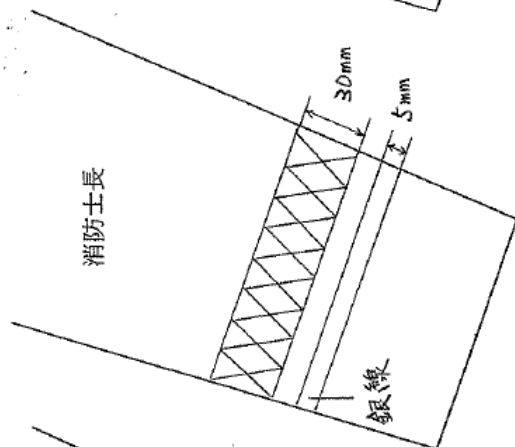
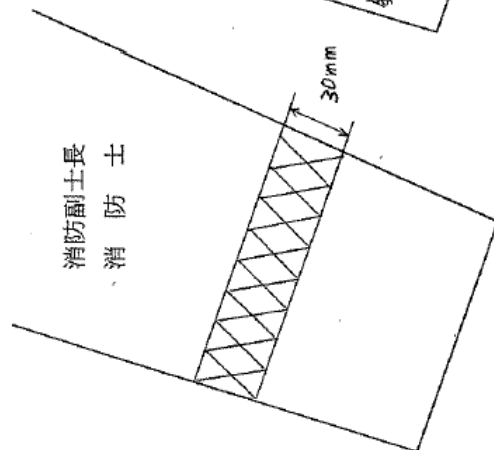
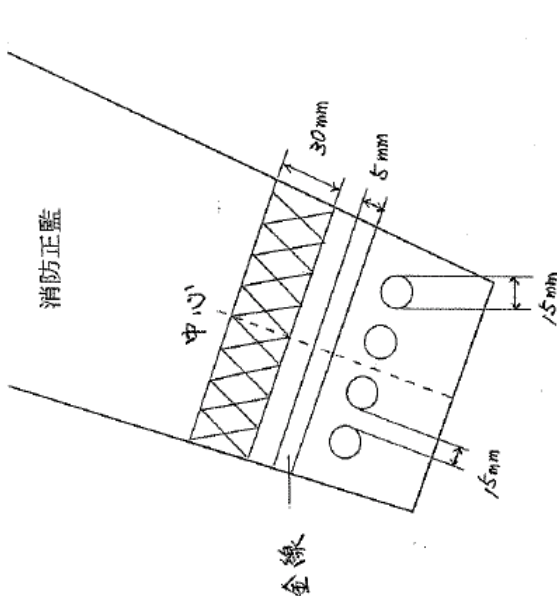
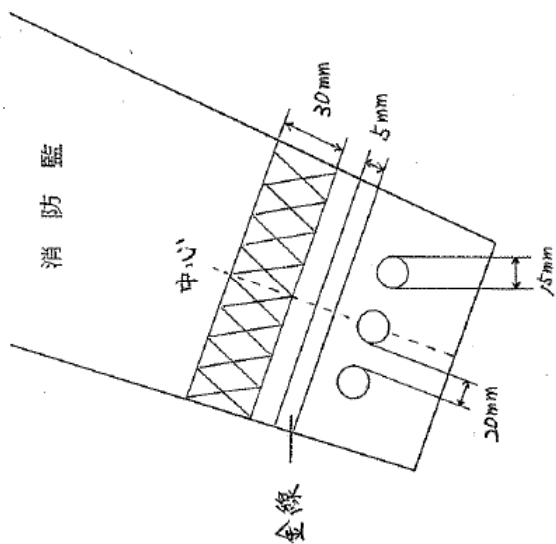
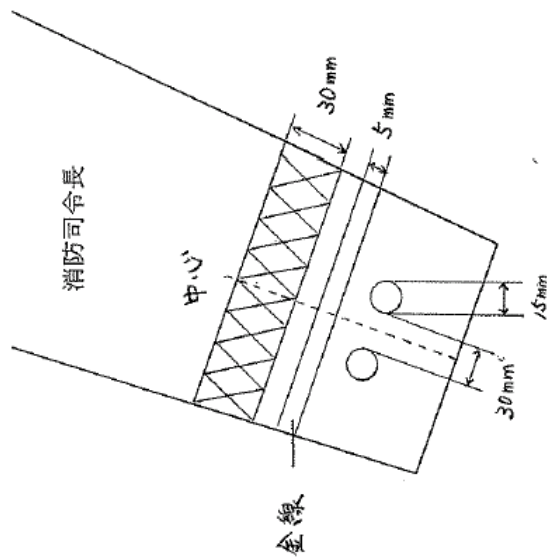


<後 面 図>





消防吏員用冬服の袖章

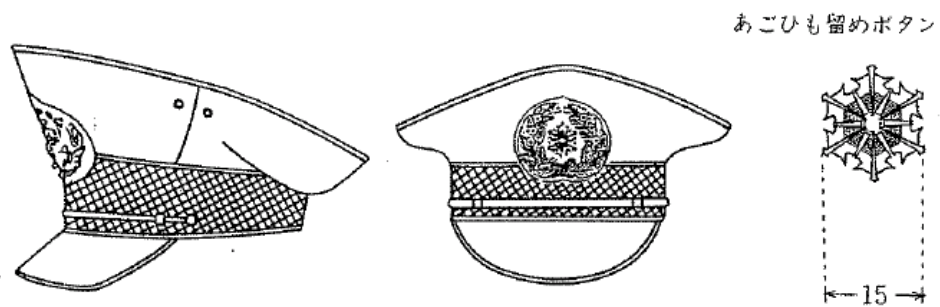


別紙 2 消防吏員用冬帽仕様書

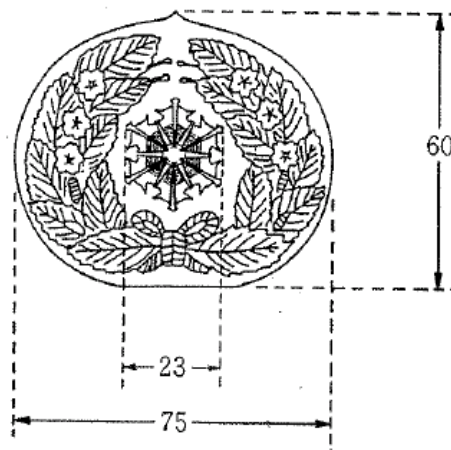
- 1 使用生地 消防吏員用冬服表生地と同じとする。
- 2 色 濃紺色
- 3 型 式 丸帽 別図のとおり
- (1) 裏生地 天井及びマチの部分に黒綿繻子を使用、天井前面にビニールをマチ前面の裏地に不織布芯地を縫い付ける。
- (2) 腰 枠 ポリフォームで通風口を付ける。
- (3) 汗取り デラクールで通風口を付ける。
- (4) 底 黒ビニール製（表艶つき裏しぼり）
- (5) あごひも 黒艶付きビニールレザー 芯疑皮
- (6) あごひも 留めボタン あごひもの両端を金色金属消防章（ネジ式）各 1 個で止める。
- (7) き 章 銀色金属製消防章をモール製金属桜をもって抱くようにしたものを付ける。
形状及び寸法は別図のとおり。
- (8) 周 章 帽の腰周りには、黒色のななこ織を巻く。
消防司令以上は、じゃ腹組金線及びじゃ腹組黒色線を、消防司令補は、じゃ腹組黒色線を巻く。
形状及び寸法は、別図のとおり。
- (9) 天張り 銅線入りビニールパイプ
- (10) 前 立 銅線板をビニールで覆ったもの。
- (11) その他 ネーム紙を付ける。
腰下辺に玉を付ける。
空気抜きとして各側面に鳩目 2 ヶを付ける。

(単位mm)

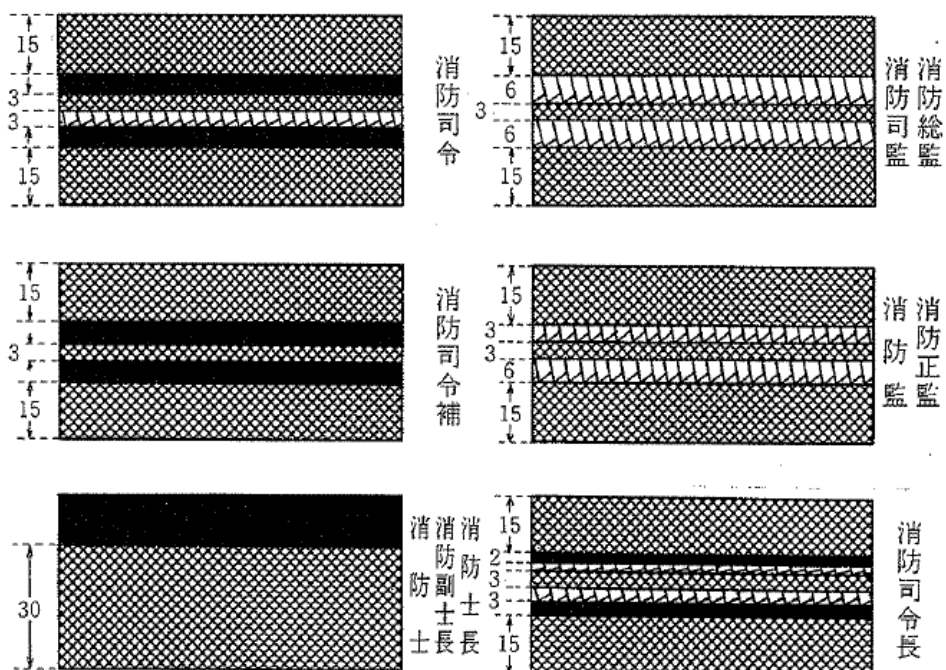
冬帽及び夏帽



き 章



周 章



別紙 3

サイズ別数量表（冬服）

別寸については、購入所管課担当者の指示に従い売渡人が出張して採寸すること。
上衣及びズボンの寸法は、別紙 1 消防吏員用冬服仕様書を参照すること。

上衣

(数量単位：着)

サイズ (号数)	数量	数量のうち、 女性用	数量のうち、 袖調整あり
1 号	0	0	0
2 号	1	0	1
3 号	6	0	4
4 号	8	0	2
5 号	12	0	2
6 号	11	0	3
7 号	0	0	0
8 号	4	0	2
9 号	0	0	0
10 号	2	0	1
11 号	2	0	1
12 号	1	0	0
別寸	3	2	3
合計	50	2	19

ズボン

(数量単位：本)

サイズ (号数)	数量	数量のうち、 女性用	数量のうち、 裾調整あり
1 号	1	0	1
2 号	6	0	3
3 号	5	0	3
4 号	11	0	8
5 号	15	0	7
6 号	7	0	4
7 号	1	0	1
8 号	4	0	3
9 号	1	0	1
10 号	2	0	1
11 号	1	0	1
12 号	1	0	0
別寸	4	4	4
合計	59	4	37

冬帽

(数量単位：個)

サイズ 頭囲（c m）	数量
54	1
55	0
56	7
57	5
58	8
59	9
60	5
61	1
62	0
合計	36

別紙 4

納入場所一覧表

No.	納入場所	所在地
1	財産管理課	静岡市駿河区南八幡町 10 番 30 号 3 階
2	葵消防署	静岡市葵区追手町 6 番 2 号
3	駿河消防署	静岡市駿河区南八幡町 10 番 30 号 2 階
4	千代田消防署	静岡市葵区東千代田二丁目 1 番 10 号
5	清水消防署	静岡市清水区東大曲町 6 番 8 号
6	港北消防署	静岡市清水区庵原町 592 番地の 8
7	日本平消防署	静岡市清水区村松 625 番地の 4
8	島田消防署	島田市旗指 513 番地の 1
9	吉田消防署	榛原郡吉田町住吉 1386 番地の 5
10	牧之原消防署	牧之原市波津 191 番地 1